令和3年2月

平成30年版　建築設備設計基準の正誤表について

設備設計基準　第4版正誤表

頁	編	章	節・項		訂正箇所	誤	正
372	4	1	2-3-5	暖房負荷計算 外気負荷	下から9行目	ρ：空気の密度[kJ/m^3]	ρ：空気の密度[kg/m^3]
381	4	1	3-3	選定図表	表3-5 チリングユニット（水冷式）の諸元 左欄の圧縮機横	電動機出力[kVA]	電動機[kVA]
429	4	1	9-1-2	ダブルコイル空気調和機機の算定及び空気線図の作図法	(h)コイル冷却負荷の算定	ⅱ)潜熱（外気負荷用）コイル冷却負荷(q_{c0})は、比エンタルピー差($h_{2c}-h_{4c}$)に基づいて計算する。	ⅱ)潜熱（外気負荷用）コイル冷却負荷(q_{c0})は、比エンタルピー差($h_{2c}-h_{4c}$)に基づいて計算する。
594	4	5	3	ダクト系の抵抗計算	(3)直管ダクトの圧力損失 ΔP_t[Pa]の3行目の式	$Q=\pi/4\cdot d^2\cdot \boldsymbol{\nu}\cdot 3{,}600$	$Q=\pi/4\cdot d^2\cdot \mathbf{v}\cdot 3{,}600$
912	7	6	1-3	計　算	図1-7　シーリングディフューザーC_2型の発生騒音	(a)図、(b)図及び©図のX軸で、風量の100の位置がずれている。	(a)図、(b)図及び©図のX軸で、風量の100の位置を2目盛り右に移動する。
913	7	6	1-3	計　算	図1-8　シーリングディフューザーE_2型の発生騒音	(a)図、(b)図及び©図のX軸で、風量の100の位置がずれている。	(a)図、(b)図及び©図のX軸で、風量の100の位置を2目盛り右に移動する。
914	7	6	1-3	計　算	図1-9　吹出口 VHSの発生騒音	(c)図の寸法　300×150	(c)図の寸法　300×200